

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 5月 11日

事業所名 ちあふるスクール枚方

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		基本配置の他、追加でフォローの人員配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		身体上の障害のある児童の通所はないが、通所している児童の特性に合わせて集中しやすい個別ブースを用意している。	トイレの飾付けや、明るさの向上などで、不安なく利用できるように配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内研修及び外部研修の実施と、各職員への伝達を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者様から、診断書や心理検査結果報告書等のコピーをいただいている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の児童に合わせたプログラムを作成している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		利用児童一人ひとりの、目標と支援内容の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		各スタッフが自分自身が勤務していない日も、児童の活動記録を振り返り状況を確認したり情報共有できるように、確認時間を確保している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		各児童の支援内容に照らし合わせた活動記録を残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月毎を目安にモニタリングを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			療育内容の性格上、地域交流などできていない部分を除き、その他の部分は組み合わせ合わせて行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		相談支援事業所から紹介の児童について担当者会議の際に支援内容を報告できるように活動記録を児童毎にまとめている。	担当者のみならず、事業所内で支援に関わる全スタッフで会議の内容を共有する機会を設ける。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現状は、卒業者がいない状況です。利用児童の年齢を考慮すると当面は対象となる児童がいない状態だが、情報を提供できるように準備を進めておく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		事業所内で交流会を開催したり、従業員の子どもも参加して一緒に活動する機会を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		保護者様からの要望として必要とされたことがないが、今後も要望の確認を随時行うようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		面談、電話、メール等で相談を受け付け対応している。	気になることがあった場合は、事業所主導で支援の声かけを行っていきけるようにする。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		3ヶ月毎のモニタリング、6ヶ月毎の支援計画更新の際、必ず面談を実施しているが、それ以外でも相談があればその都度応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者様同士が知人の場合は交流もあるが、保護者会の開催は要望があった場合にのみ検討していこうと考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		突発的な苦情にも迅速に対応できるように、人員体制に余裕をもって準備している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		ハロウィン等のイベント時に、地域の方に協力していただき、子どもたちが楽しめる催しを行っている。	不特定多数の方と交流する機会となる行事等は行っていないが、HP内のお知らせを通じて事業所の情報発信を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		訓練実施日を固定せず、一定期間実施を継続している。週1日など利用日の少ない児童も必ず参加できるようにしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在、身体拘束が必要な状況がある児童はいないが、今後必要な場合は個別支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーの有無を入所前に確認している。アレルギーのある子については昼食やおやつを持参してもらっている。	対象となる児童には、口頭確認だけでなく、医師の指示書のコピーをいただけるか声かけしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			